

Case17

## 有限会社 藤原米穀



代表者メッセージ



代表取締役  
藤原 隆志

### 「異物ゼロ」に妥協は一切なし！ おいしい米で笑顔あふれる食卓を

当社は小さな町の小さな米屋です。近年、コンビニやファーストフードなど手軽に食べられる食材により、各家庭のライフスタイルも多様化し、昔に比べ食卓もすっかり様変わりしました。食卓に「お母さんの味」が少なくなる中、我々は改めて「食」を見直す時期がきていると感じております。百姓が真心を込めて丁寧に作った米を一級品にして皆様の元へお届けすることが米屋の使命。手間暇を惜しまず、安心安全な米を精米することを第一とし、そのおいしさで笑顔と健康、さらには感動を日々の食卓に届けることを目指しております。

企業情報

所在地	香川県観音寺市八幡町3-2-41
TEL	0875-25-3827
設立	1993年7月
代表者	藤原 隆志
業種	食品製造業
従業員数	1名
事業内容	精米、お米販売業

事業計画名

# 精米工程における異物や不良米の効率的 除去方法の確立による安心安全米の生産

食環境が豊かになる反面、健康志向ブームや食育など消費者の「安心安全な食材」に対する意識は年々高まるばかり。玄米価格の上昇や自主流通米の増加に伴い、同業他社の廃業が目立つ中、当社は消費者目線に立ち、精米工程による異物や不良米を効率的に除去できる新方式の開発に取り組むこととした。

取り組みの経緯



精米工程において精米しただけでは変色や不良米が混入し、場合によっては小石や草の実等の異物混入する問題点があった。そこで色彩選別機を導入し99%削減。しかし、他社でも同様の機器導入があり、さらなる差別化を図るため、最新の色彩選別機を導入を申請。選別機に2回通すことで不良米や異物の除去率を99.99%まで引き上げ、より安心安全な米を食卓に届けることを目指すこととした。

実施内容

3色光方式の色彩選別機を導入することで、よりの確に不良米を識別し、高精度な選別を行うことを目指した。しかし、米の品種や産地により品質に差があるため、それぞれの米に合わせた設定の微調整が必要なのが判明。そこでベンチマークとなる詳細設定を定め、目標として掲げてきた不良米の除去率99.99%を達成することができた。同時に良品米の誤除去の量も従来に比べ、半分に抑えることが可能となった。



成果



高齢化社会の時代において、今後は介護老人ホームや施設などが大幅に増加する傾向にあり、それに伴い食への安心安全はより一層求められている。そんな中、異物除去率を向上させる技術は、さらなる市場開拓において大きな武器となる。また、異物除去の際に不良米と共に排出されてしまっていた良品米の量が激減したことでロスが回避され、精米の生産性向上に加え、直接営業利益につなげることができた。



## お米マイスターが手がける アイデア満載の遊び心！ 世代を問わず「お米ファン」が急増

農家の人たちが毎日大切に育てた米のおいしさを幅広い世代の人に届け、安心安全な米をより身近に感じて欲しいとの思いからオリジナルブランド米などを製造・販売しています。出産祝いとして好評の赤ちゃんの体重分の「赤ちゃん米」や少量米セットの「和ぎふと米」などギフト米も人気。これからも米の旨さと魅力を発信し続けます。